市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙
To 広報とめ トゥー・ミー Me
9 Sep 2025 Vol.364

ときめき人
Tokimeki bito

柔道が育む絆 夫婦二人三脚でつかんだメダル

米山町・千貫
阿部 泰樹さん
愛さん

あべ　たいき／あい　　1992年／1993年生まれ

Profile
山形県大石田町出身の泰樹さんは、柔道一家に生まれ、幼い頃から道着を着ていた。米山町出身の愛さんは、小学５年生の時に見たアテネ五輪の柔道に憧れ、柔道の道へ。今大会、愛さんは友人らと出場した女子団体戦でも金メダルを獲得。

「大会を通じて、改めてお互いを尊敬し合えた」と語る。

６月14、15の両日、鹿児島県鹿児島市内で開かれた「2025年日本ベテランズ国際柔道大会」で、市内在住の阿部泰樹さん・愛さん夫婦が、30～34歳区分の各部門に出場し、泰樹さんが男子73㌔級で２位、愛さんが女子52㌔級で１位に輝いた。

２人は幼い頃から柔道に親しみ、高校時代には東北大会優勝や、全国大会入賞を経験。進学先の帝京大学柔道部で出会い、「東北出身で柔道が大好き」という共通点から仲を深め、令和３年に入籍。社会人になっても柔道の楽しさが忘れられず、仕事の都合やコロナ禍で離れる時期もあったが、できる限り柔道との関わりを持ち続けてきた。

互いの年齢や、今後の人生を考え、「選手として柔道ができる時間は限られている」と感じていたところ、30歳以上の柔道熟練者が集う今大会の存在を知った。「もう一度本気で試合がしたい」と夫婦で出場を決意し、大会までの約３カ月間、かつての柔道仲間や恩師の協力を得ながら、さまざまな練習会に参加。互いに叱咤激励しながら、きつい練習や減量に取り組んできた。そうして迎えた本番では、夫婦そろってメダルを獲得。その瞬間を、「努力が結果につながった喜びと、応援してくれた人たちに良い報告ができる安心感でいっぱいでした」と振り返る。

「いつか夫婦で『柔道日本一』になりたい」と語る泰樹さんに、愛さんは「一生一緒に柔道を続けたいね」とにっこり笑う。夫婦の固い絆を胸に、２人はこれからも「柔の道」を歩み続ける。

編集後記

▼特集の取材で、多くの笑顔に元気をもらいました。ご協力いただいた皆さんありがとうございました。私も産前産後は各種サロンに参加していましたが、その時出会ったママと、息子の高校で再会。お互いの子が同じクラスで学ぶ姿を見て、成長したなと、改めて感じました。（森田）

▼市内は熱いお祭りシーズンの真っ最中。危険な暑さが続いていますので、熱中症対策を万全にし、くれぐれも体調に気をつけながらお祭りを楽しみましょう。かくいう私は、毎晩のハイボールとアイスのせいで、お腹の脂肪が順調に厚くなっています。（添田）

▼わたしの描く夢で取材した伊藤さんの夢はプロ野球選手。先日私は、中学硬式野球の全国規模の大会で審判をしてきました。勝者がいれば敗者もいるわけですが、努力した過程や仲間たちは、人生において大きな財産になるはず。彼らの将来が楽しみになりました。（高橋）

広報とめ（９月号）
発行日／令和７年８月19日　発行／登米市
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目６番地１
編集／総務部市長公室 広報広聴係
TEL.0220-22-2090　FAX.0220-22-9164
E-mail:koho@city.tome.miyagi.jp　印刷／川内印刷株式会社

登米市公式ホームページ
https://www.city.tome.miyagi.jp/
登米市メール配信サービス
（防犯や防災、市政に関する情報などを配信）
https://plus.sugumail.com/usr/tome/home
登米市公式 LINE
（市政、イベント情報などを配信）
https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam